

## 6. 計画の推進

### — 構想推進の考え方 —

「団体自治」の実現に向け、高い自主性と自立性を図りながら、市民の意向を十分反映した市政運営を行います。また、市民自らが地域のことを考え自らの手で治める行政システムの構築により「住民自治」の実現を図ります。

#### 1. 協働の推進

- 市民自治の推進
- 協働のシステムづくり
- コミュニティの展開・推進
- 公平・透明な行政の推進

#### 3. 地方分権への対応

- 中核市構想の推進
- 広域行政の推進
- 地域連携の推進

#### 2. 持続可能な行財政運営

- 自治体運営
- 行政改革の推進
- 組織管理
- 人材育成と能力・実績を重視した人事管理
- 危機管理の取り組み
- 持続可能な財政運営
- 財政の健全化

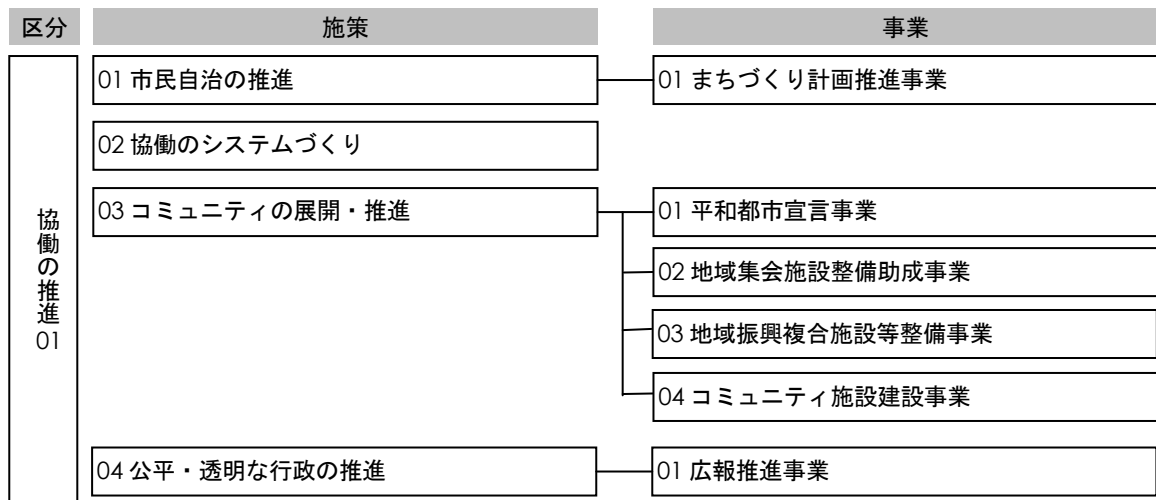
\*のついた用語は用語解説をご参照ください。

# 1 協働の推進

## 施策の基本的考え方

- 市民参加の促進に向け、自治意識の高揚、市民参加機会・社会貢献活動機会づくりを推進し、市民による自治を図ります。
- 市民と行政とのパートナーシップ\*を発揮するために、協働する社会のシステムの構築を図ります。
- 市民の手によるまちづくりを目標に、環境・文化・福祉・自然愛護・市民憲章や平和運動の推進など、広範な市民運動を支援します。
- コミュニティ\*施設の自主管理、自主運営などから住民の自治意識の高揚及び連帯感の醸成を図ります。なお、新設については建設要件が整い次第、建設計画を推進します。
- 行政の説明責任の向上を図り、質の高い行政情報の提供をいたします。
- 各種媒体を活用した行政情報の積極的な発信に努め、市民参加の促進を図ります。

## 施策・事業の体系



## 01 市民自治の推進

<b>■まちづくり計画推進事業</b> <b>【事業No.06010101】</b>	担当部課係名	市民部	市民対話課 地域振興係	ダイヤル	237-5298
---	--------	-----	----------------	------	----------

### 事業概要

- 地区まちづくり協議会が、地区のまちづくりの将来像を目標として、地区住民参加によるまちづくり計画の策定、事業の推進を図ることに対して、まちづくり事業への支援をするとともに、事業への行政参加協力を努め、地域と協働した住みよいまちづくりを推進する。

### 現況と課題

- 各地区において、地域のニーズに即した実効性のあるまちづくり事業への取り組みがなされてきており、地域と行政との協働のまちづくりの観点から非常に補助効果が高いため、奨励的補助金ではあるが、減額等について地域住民の理解を得ることは困難な状況にある。

### 今後の事業展開

- 地区の独自性を尊重するとともに、各地区の事業の活性化の促進、指導にあたっては、地区間のバランスに留意しながら、それぞれ地区ごとの地域力が高まり、市全体でのまちづくり事業の活性化に繋がるよう、各地区の特色あるまちづくり事業推進の促進に努めることとする。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H25~27)
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
まちづくり事業助成事業数 (件)	117	120	120	120	120	360
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25~27)
	平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
	7,755		7,670	7,670	7,670	

## 03 コミュニティの展開・推進

<b>■平和都市宣言事業</b> <b>【事業No.06010301】</b>	担当部課係名	市民部	総務課 庶務係	ダイヤル	237-5294
--	--------	-----	------------	------	----------

### 事業概要

- 戦争の惨禍が風化されつつある中で、平和の大切さ、命の尊さを次の世代へ語り継ぐとともに、人類共通の願いである恒久平和を市民と行政が、それぞれの立場と役割を持って、恒常的・継続的に推進することにより、市民の「平和意識」の高揚が図られる。

### 現況と課題

- 本事業の推進には、その趣旨からも、中学生等の「広島平和記念式典派遣」が最も重要であると考え、経費抑制の流れの中で、予算の確保が難しい。

### 今後の事業展開

- 他の自治体や関係諸団体との連携を一層深め、情報の共有を図るとともに、アンケート調査を含め、市民の声によく耳を傾け、より効果的な事業の推進を図る。  
また、次代を担う中学生を広島に派遣することも非常に重要と考えるが、大人も戦争を知らない世代が大半を占めるようになった現在では、大人を派遣して「平和意識」の高揚を図ることも重要と考え、大人の派遣も継続していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H25~27)
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
平和ポスター応募作品数	578	641	600	600	600	1,800
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25~27)
	平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
	2,494		2,587	2,985	2,520	

\*のついた用語は用語解説をご参照ください。

<b>■地域集会施設整備助成事業</b> 【事業No.06010302】	担当部課係名	市民部	市民対話課	タ イ ル イ ン	237-5298
			地域振興係		

**事業概要**

- 自治会等が所有する地域集会施設の新築費、改修費（バリアフリー化を含む）、取得費、耐震診断費及び備品購入費に対し補助することにより、地域住民の集会活動を容易にし、地域の発展向上を図る。

**現況と課題**

- 平成23年度から耐震診断費補助を開始したが、少数の利用に留まった。自治会負担が生じていることが原因の1つであると考えられるため、今後も利用実績が上がらない懸念がある。

**今後の事業展開**

- 中期的な施設整備計画を策定するとともに、耐震補助については全額補助、耐震改修についても補助制度を新設するなど、地域集会施設の積極的な耐震化を図っていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H25～27)
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	
助成対象棟数	20	11	48	43	8	99
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	7,315		5,800	10,300	10,300	

<b>■地域振興複合施設等整備事業</b> 【事業No.06010303】	担当部課係名	企画部	南北地域振興課	タ イ ル イ ン	237-1173
			振興係		

**事業概要**

- 甲府南インターチェンジ入口東側「風土記の丘農産物直売所」と北側に隣接する土地を含めた約1.3ha(13,655.64㎡)の市有地に、観光交通や物流の南の玄関口である甲府南インターチェンジの立地とも相まって、地域一帯の拠点性を高めると同時に、新市としての一体感の醸成と新たな交流の場として、市民に必要とされる複合的な機能を有する施設の整備を行う。

**現況と課題**

- 老朽化に伴う既存施設の撤去・移転並びに出入口周辺の道路形態の改良等の必要性が生じてきている。  
また、農閑期における施設の有効活用など、1年を通じて安定した農産物の供給体制の整備及び施設運営手法等の確立が課題となっている。
- 新市としての一体感の醸成と新たな交流の場を創出するためには、早期の整備が望ましいところではあるが、本市財政状況を考慮して施設整備を行うとともに、効率的な運営によって本市南部における拠点施設となるよう努める必要がある。

**今後の事業展開**

- 関係部局と連携を図るなかで、平成26年秋の竣工を目指し、建設工事に着手する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H25～27)
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	
①基本計画策定 ②実施設計 ③施設整備 ④既存施設除却 (%)	① 100	② 100	③ 60	③ 100	④ 100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	35,044		466,758	595,041	107,457	

<b>■コミュニティ施設建設事業</b> <b>【事業No.06010304】</b>	<b>担当部課係名</b>	<b>市民部</b>	市民対話課	<b>ダイヤル</b>	237- 5298
			地域振興係		

### 事業概要

- 市民の文化教養の向上、生涯学習推進のため、市民の自主的、創造的な地域活動の拠点施設となるコミュニティ施設（悠遊館）を整備し、地域住民の手による自主管理、自主運営により、住民の自治意識の高揚及び連帯感の醸成を促進する。

### 現況と課題

- 建設にあたっては、施設、設備等について、地域事情を把握した上で、地区との協議を進め、地区の合意、取りまとめに努める。

### 今後の事業展開

- 平成25年度には玉諸のコミュニティ施設実施設計を行う。また、財源については、地方債を活用し、年次的に計画を遂行していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H25～27)
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
悠遊館建設数	—	2	—	1	1	2
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	393,006		27,940	109,700	23,506	

\*のついた用語は用語解説をご参照ください。

## 04 公平・透明な行政の推進

■広報推進事業 【事業No.06010401】	担当部課係名	市長室	広報課	ダイヤル	237-5314
			広報係・政策情報係		

**事業概要**

- 広報誌をはじめ、ホームページ、テレビ、ラジオ、新聞、タウン誌などのあらゆる媒体を活用した広報活動を通じて、市民が市政に関心と参画意欲をもってもらえるよう、的確にわかりやすく伝えることに努めるとともに、県内外に本市の魅力をPRし、イメージアップを図る。

**現況と課題**

- 行政情報をわかりやすく伝えるとともに、タイムリーで効果的な情報を発信していく工夫が求められる。

**今後の事業展開**

- 広報活動については、メディアミックス\*の考え方にに基づき、広報誌やホームページの他、様々なメディアを活用して情報発信を行うことを基本に事業を進めている。発信する情報については、より親しみやすく魅力的な内容とするため、市民レポーターや学生レポーターを活用して、市民自らが取材した内容等も加えて発信していく。また、平成25年度の新庁舎での業務開始に伴い、新たな情報を盛り込んだ「甲府 暮らしの便利帖」を発行するとともに、大型ビジョンによる情報発信を行っていく。この大型ビジョンでは、市政情報や観光情報などの放映や、ヴァンフォーレ甲府のパブリックビューイング\*などを行い、賑わいの創出に努めていく。今後も引き続き協議・検討する中で、より効果的な情報発信に努めていく。

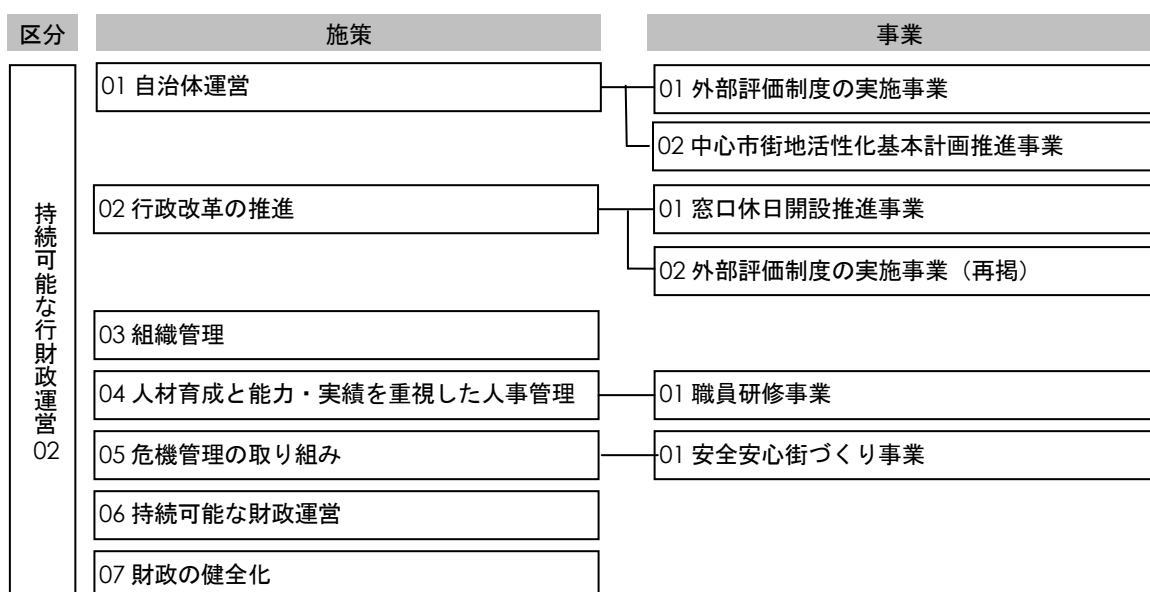
成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H25~27)
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
情報発信回数 (回)	879,413	1,163,140	1,086,000	1,086,000	1,086,000	3,258,000
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25~27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	64,271		70,013	69,850	69,850	

## 2 持続可能な行財政運営

### 施策の基本的考え方

- 本格的な地方分権時代を迎えるなかで、自主的かつ自立的な自治体運営に努め、市民の視点から行政サービスを再構築し、個性豊かで、活力に満ちた市民本位の行政運営に努めます。
- 評価システムを活用し、Plan（計画）－Do（実施）－Check（評価）－Action（改善）のマネジメントサイクル\*に従い進行管理を行い、評価結果をもとに施策・事業の重点化を図ります。
- 従来の行政が行う市民へのサービス提供の役割を分担し協働を進めるとともに、新たな視点による施策・事業の選択や見直し、事務の効率化、組織体制の改革により、行政改革の推進を図ります。
- 市民本位の市政を推進するため、少数精鋭による職員定数の管理に努めるとともに、簡素で、効率的な組織機構の構築に取り組みます。
- 職員の資質と能力の向上を図る積極的な人材育成に取り組むとともに、適正な人事評価に基づく能力・実績を重視した人事管理を推進します。
- 街の安全が脅かされ市民生活における不安感が増す傾向にあるなか、関係機関との連携強化を図り安全安心街づくりを推進します。
- 突発的または予想外の災害などに対して、迅速かつ的確に対応できる庁内体制の整備を図ります。
- 財政計画とマネジメントサイクルとの整合性を図り、歳入を基軸とする予算編成を行います。
- 財政基盤を強化するため、市税等の徴収率向上を図るなど自主財源の安定的な確保や、財源の重点的、効率的な活用により、財政の健全化を図ります。

### 施策・事業の体系



\*のついた用語は用語解説をご参照ください。

01 自治体運営

<b>■外部評価制度の実施事業</b> 【事業No.06020101】	担当部課係名	企画部	行政改革課	ダイヤル	237-5293
			行政改革係		

**事業概要**

- 限られた財源や人的資源の中で、効果的・効率的な事業推進を図るため、公募市民や学識経験者等で構成する甲府市事務事業外部評価委員会の委員から、本市の事務事業に関する改善点などについて意見等を聴取し、事務事業の見直しを行う。

**現況と課題**

- 評価事業の選定方法
- 外部評価委員の事務事業外部評価に対する理解度向上
- 評価区分の明確化
- より多くの市民の参画を得るための方策

**今後の事業展開**

- 外部評価委員会の委員に対して、事務事業の外部評価とは、何をどのように評価することなのか理解を深めていただくため、事前学習会を実施する。
- 公開評価の傍聴者数増加及び知名度向上のため、今までの「ホームページ」や「広報こうふ」での掲載に加え、各種媒体等を使用し積極的に周知する。(山日新聞の「かわせみ」に掲載、ラジオでPR、テレビ回覧板でテロップ掲載、ホームページのツイッター、ポスターを総合行政窓口センター等に掲載)
- 多くの市民が傍聴できるように、市のホームページにおいて公開評価の様態を中継する。
- 新採用職員による「外部評価研修」を実施し、事業説明会や公開評価に参加し、アンケートや意見を募る。

成果指標	実績値		見込み値			目標値	
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	目標値 (H25～27)	
評価結果の予算へのシフト率 (%)	63	63	100	100	100	100	
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)	
	平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度		
	848		1,117	1,117	1,117	3,351	

<b>■中心市街地活性化基本計画推進事業</b> 【事業No.06020102】	担当部課係名	企画部	まちづくり課	ダイヤル	237-5319
			計画係		

**事業概要**

- 平成 25 年度においては、市民公募委員を含めた「中心市街地活性化基本計画策定委員会」を設置し、現行計画の総括及びそれを踏まえた次期計画案の策定を行う。  
また、平成 26 年度以降は、次期計画の評価、検証及びフォローアップを行う。

**現況と課題**

- 平成 25 年度は、「中心市街地まちづくり会議」の評価、検証を踏まえ、「中心市街地活性化基本計画策定委員会」による総括及び計画案の策定を行うことが必要である。

**今後の事業展開**

- 計画策定後は、委員自らの議論・意見交換など委員主導型運営により、次期計画の継続的な評価、検証、フォローアップ等を行うための会議等の設置を検討する。

成果指標	実績値		見込み値			目標値	
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	目標値合計 (H25～27)	
甲府市中心市街地活性化基本計画の策定、検証及び新規事業提案等の提言	1	1	1	1	1	1	
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)	
	平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度		
	277		5,043	326	326	5,695	



## 02 行政改革の推進

<b>■窓口休日開設推進事業</b> <b>【事業No.06020201】</b>	担当部課係名	市民部	総務課	ガイライン	237-5294
			庶務係		

### 事業概要

- 働く人や生活者のリズムに合わせた行政サービスの展開として、週休二日制の浸透などによる市民生活のリズムと市役所の業務時間のズレを解消し、生活者本位のサービスの実現を図るとともに、市役所も中心市街地で行政サービスを提出する一店舗であるとの認識に立ち、中心商店街に賑わいを呼び込む一助として貢献できるよう、日曜窓口を開設している。

### 現況と課題

- 平成 22 年 3 月末で医療費助成の申請受付が終了し、また、平成 22 年 5 月から市税等のコンビニ収納導入により市税等の収納業務を終了するなど、取扱業務が減少しており、来庁者も逡減しているため、今後の窓口業務のあり方を検討する必要がある。

### 今後の事業展開

- 新庁舎開庁と同時に導入する「総合窓口システム」運用開始後は、開設曜日・場所・時間等について、市民サービスの観点と費用対効果を鑑みつつ、事業の継続や必要性を含め窓口サービスのあり方を再検討していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H25～27)
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
来庁者延べ人数	15,306	11,000	10,000	10,000	10,000	30,000
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
	0		0	0	0	

<b>■外部評価制度の実施事業</b> <b>【事業No.06020202←06020101】再掲</b>	担当部課係名	企画部	行政改革課	ガイライン	237-5293
			行政改革係		

\*のついた用語は用語解説をご参照ください。

## 04 人材育成と能力・実績を重視した人事管理

■職員研修事業 【事業No.06020401】	担当部課係名	総務部	研修厚生課	ダイヤル	227- 5293
			研修係		

**事業概要**

- 分権型社会の進展する中、新たな行政課題に的確かつ柔軟に対応するとともに、直面する行政課題だけでなく、自らが課題を発見・抽出し、その解決に向けて行動して成果を挙げていく高い能力や専門知識を身につけ、積極的に職務に取り組む意欲を持った職員を育成する。  
また、「日本一親切・丁寧で明るい市役所」を目指し、より一層、職員の意識改革を推進する。

**現況と課題**

- 「新甲府市人材育成基本方針」及び「甲府市人材育成実施計画」の方針等を組織内に定着させ、より実効性を持たせる必要がある。  
また、行財政改革に伴い職員数が減少する中で、人材育成や自己能力開発に対する意識の向上と、自ら責任を持って積極的に市民のために行動できる職員を育成することが必要となっている。

**今後の事業展開**

- 研修所研修においては、「新甲府市人材育成基本方針」に定められた「目指すべき職員像」の実現や「職位に求められる役割と能力」の向上を「研修のねらい」に設定する中で実施する。
- 平成24年度に策定した「第2次甲府市人材育成実施計画」を推進する中で、人材育成を支援する各種制度を計画的に整備する。
- 「部局テーマ別職場研修」を引き続き実施し、職場でのコミュニケーションの活性化や職場における課題の共有化及びその解決を図りつつ、「学ぶ組織風土」の醸成を進める。
- 「日本一親切・丁寧で明るい市役所」の実現に向け、研修カリキュラムに接遇を組み込むとともに、民間企業等接遇派遣研修を実施する。また、接遇指導者養成研修を実施し、職場研修講師を養成する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H25～27)
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
部局テーマ別職場研修 開催数	271	200	200	200	200	600
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	12,391		12,084	12,084	12,084	

## 05 危機管理の取り組み

■安全安心街づくり事業 【事業No.06020501】	担当部課係名	企画部	危機管理課	ダイヤルイン	237-5247
			危機管理係		

### 事業概要

- 安全で安心な地域社会の実現のため、防犯ボランティア活動等の促進と犯罪が発生しにくいまちづくりを推進する。また、国民保護事案や新型インフルエンザの発生など、緊急事態に備え、平素から体制の整備を図る。

### 現況と課題

- 安全で安心して暮らすことのできるまちづくりは、市民一人ひとりが地域の安全に関心を持ち、「地域の安全は地域で守る」という自主防犯意識と地域の連帯感を深め、地域防犯活動への積極的な参加等を促し、地域防犯力を高める必要がある。

### 今後の事業展開

- 関係機関との連携をより一層強化するとともに、自主防犯団体リーダー研修会や各地域ボランティア団体等の会合に出向き、ボランティア活動の必要性を訴える中で、地域防犯活動の向上と自主防犯活動意識の醸成に努める。
- 市民等の緊急事態に備え、引き続き、医療職を除く全職員を対象に普通救命講習会をローリング方式により実施し、心肺蘇生法とAEDの使用方法についての技能や知識の更なる向上を目指す。
- 青色回転灯を装備した公用車（10台）とパトロールカーの巡回警備により、犯罪抑止に努める。
- 「甲府市暴力団排除条例」の普及に努める。
- 国民保護事案発生時に迅速かつ的確に対応を行うため、図上訓練を継続的に実施する中で、体制の整備を図る。
- 新型インフルエンザの発生に備え、甲府市新型インフルエンザ行動計画及び対応マニュアルの徹底に努める。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H25~27)
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	
甲府市安全・安心ボランティア新規登録者数	平成23年度 402	平成24年度 250	250	250	250	750
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25~27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	9,998		13,517	9,998	9,998	

\*のついた用語は用語解説をご参照ください。

## 3 地方分権への対応

### 施策の基本的考え方

- 甲府盆地一帯の広域的な地域連携を担う責任自治体として、盆地の一体的な発展と自主・自立した自治体をめざし、中核市\*の実現に向けた取り組みを進めます。
- 福祉・生活環境・文化教育、防災などの広域的な行政課題について、行政サービスが総合的、一元的に提供され行政サービスの水準の向上が図られるよう条件整備を進めます。
- 県内外との交流連携を促進し、多様な分野での地域の活性化を図ります。

### 施策・事業の体系

区分	施策	事業
地方分権の対応 03	01 中核市構想の推進	
	02 広域行政の推進	
	03 地域連携の推進	

